

証明への苦手意識を減らすための 指導の工夫

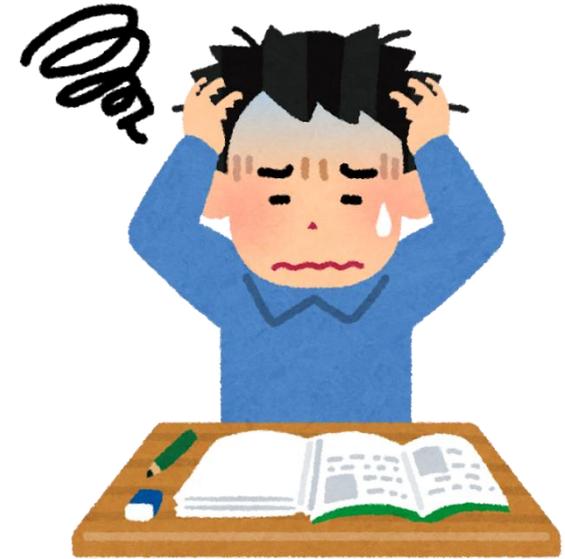
仙台市立西多賀中学校 教諭 石田 圭佑

研究の目的と方法

- 証明への苦手意識を減らす
 - 何を書いたらいいかわからない
 - 書くことが多い
 - 覚えることが多い

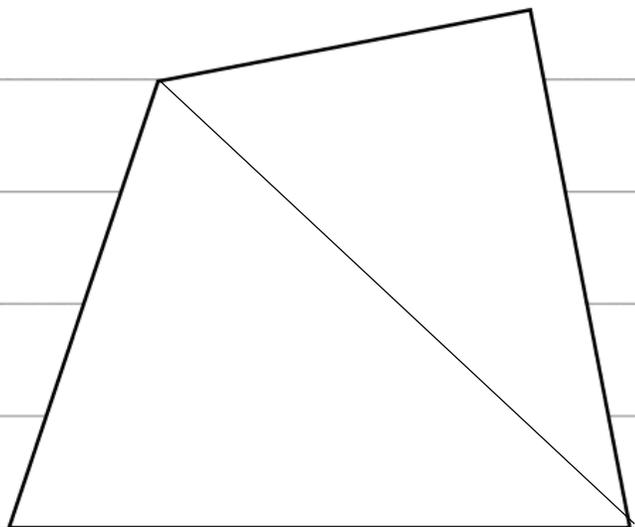


- 採点基準の明示
- 自己採点で振り返り



実践事例

四角形

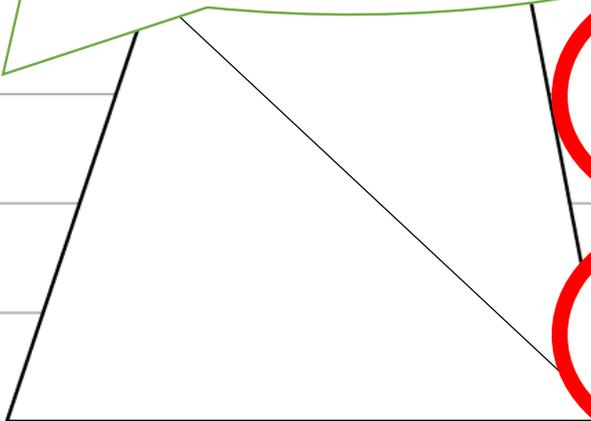


課題

四角形の内角の和が 360° であることを，三角形の内角の和が 180° であることをもとにして説明しよう。

実

- ・ことばでの説明が足りなかった。
- ・他の人と考えを合わせたら満点だったのに。



$$\underline{180^\circ \times 2 = 360^\circ}$$

1点

三角形2つ分だから360°だよ。

2点

三角形の角の和は180°なので
180° × 2 = 360°

採点基準

- ① 三角形の内角の和は180°で、
- ② 四角形は三角形2つに分けられるから
- ③ 180° × 2 = 360°
よって四角形の内角の和は360°である。

研究の結果と考察

- 何を書いたらいいかわからない
→ 分かることから書こう
- 書くことが多い
→ 必要だから書こう
- 覚えることが多い
→ 書きたいのに思い出せない。振り返ろう。



粘り強い取り組み
自らの学びを調整